

- 問1 豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵において、日本軍が朝鮮半島で戦った現地の王朝と、秀吉が征服の最終目標としていた中国の王朝の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 現地の王朝：高麗
目標とした王朝：元 | 2. 現地の王朝：新羅
目標とした王朝：唐 | 3. 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮）
目標とした王朝：明 | 4. 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮）
目標とした王朝：清 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問2 15世紀以降、地球は丸いという考えに基づいた航路開拓が進む中、カトリック教会がヨーロッパ以外の地域で積極的に布教活動を行った背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. プロテスタントの諸国と協力して、世界中に共通のキリスト教義を広めることで、ヨーロッパ内の紛争を解決しようとしたから。 | 2. 十字軍の遠征が失敗に終わり、イスラム勢力に対抗するための軍事同盟をアジアの諸国と結ぶことが急務となったから。 | 3. ルネサンスの影響で科学的知識が普及したため、キリスト教の教えが科学的に正しいことを証明する資料を求めていたから。 | 4. 宗教改革の影響でヨーロッパ内での支持を失いつつあったため、新たな信者を獲得して勢力を立て直そうとしたから。 |
|---|---|---|--|
- 問3 鎌倉時代に栄西によってもたらされた禅宗（臨済宗）と、安土桃山時代に行われた天正遣欧使節の派遣について、それぞれの背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。 | 2. 禅宗は「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで救われると説いたため農民に広まり、天正遣欧使節は江戸幕府による鎖国政策を止めるよう交渉するために派遣された。 | 3. 禅宗は加持祈祷によって現世の利益を追求したため公家に好まれ、天正遣欧使節は鉄砲の大量購入と火薬の原料を確保する契約を結ぶために派遣された。 | 4. 禅宗は経典の読誦を一切否定したため庶民の間で爆発的に流行し、天正遣欧使節は明との勘合貿易を再開させるための許可を得るために派遣された。 |
|---|---|--|--|
- 問4 桃山文化期の建築様式である「書院造」が、城郭建築において果たした役割や特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 高床の倉庫に代表される、湿気を防ぐための簡素な構造が中心であった。 | 2. 禅宗の影響を強く受け、質素で落ち着いた空間を追求した。 | 3. 襖や障子に和紙を多用し、その表面に金碧障壁画を描いて権威を誇示した。 | 4. 貴族が中心となった文化であり、左右対称の美しい庭園と渡殿が特徴である。 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問5 1573年に、織田信長が当時の将軍を京都から追放したことにより、約240年続いた室町幕府は滅亡しました。このとき京都から追放された、室町幕府最後の将軍は誰ですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利尊氏 | 2. 足利義満 | 3. 足利義政 | 4. 足利義昭 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 豊臣秀吉は、大陸への進出（朝鮮出兵）を企て、その拠点として現在の佐賀県に巨大な城を築きました。多くの大名が集結したこの城の名称を次から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 伏見城 | 2. 大阪城 | 3. 名護屋城 | 4. 安土城 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問7 15世紀、スペインがコロンブスの航海を援助した目的と、その航海の結果生じた歴史的背景について述べた次の文の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「スペインは（ X ）を求めてコロンブスの航海を支援したが、彼は1492年に現在の（ Y ）に到達した。」 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|
| 1. X：アフリカの金 Y：喜望峰 | 2. X：アジアの香辛料 Y：西インド諸島 | 3. X：地中海の絹織物 Y：フィリピン諸島 | 4. X：北米の毛皮 Y：マゼラン海峡 |
|-------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|
- 問8 安土桃山時代、千利休が造ったとされる「待庵（たいあん）」は、当時の茶の湯の精神を象徴する建築物として知られています。この建築物の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 武家の住居様式である書院造の形式を忠実に守り、広大な床の間を備えている。 | 2. 金箔をふんだんに使用し、時の権力者の富と権威を誇示する造りとなっている。 | 3. 中国から伝来した高価な茶器を並べて鑑賞するために、明るい照明と広い空間を確保している。 | 4. 量の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。 |
|---|---|--|--|
- 問9 戦国時代から安土桃山時代にかけて、石見銀山などで採掘された銀を用いた「石州丁銀」などの銀貨が広く流通しました。この時期の貨幣をめぐる状況について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 銀貨は主に東北地方の金山開発によってもたらされた金と交換するただけに作られた。 | 2. 豊臣秀吉は貨幣制度の全国統一を目的として、初めて全国共通の紙幣を各地で発行した。 | 3. 灰吹法などの精錬技術の導入により銀の生産量が増え、軍事費や海外貿易の支払いに利用された。 | 4. 貨幣の形を円形に統一するため、棒状や板状の銀貨はすべて回収され、和同開珎に作り直された。 |
|--|---|---|---|
- 問10 現在の島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて日本最大の銀産出量を誇った銀山について、16世紀に朝鮮半島から伝えられ、生産量を劇的に増大させた精錬技術の名前として正しいものを選んでください。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------------|---------|--------|
| 1. たたら吹き | 2. 灰吹法（はいふきほう） | 3. 南蛮絞り | 4. 上尊法 |
|----------|----------------|---------|--------|
- 問11 戦国時代から安土桃山時代にかけて、織田信長をはじめとする各地の大名がキリスト教の布教を認め、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易を積極的に推奨した主な目的は何ですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 仏教勢力を完全に排除するためにキリスト教を国教とするため | 2. 鉄砲や火薬などの最新の武器を手して軍勢力を高めるため | 3. 鎖国体制をより強固なものにして国内の秩序を安定させるため | 4. ヨーロッパに日本の茶や陶磁器を大量に輸出して利益を得るため |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問12 豊臣秀吉が「太閤検地」において、全国でバラバラだった「升（ます）」の大きさを統一したり、田畑の等級を定めたりした理由として、正しいものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 武士が自分の領地で勝手に税率を決める権利を強めるため | 2. 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため | 3. 農民が自由に土地を売買できるようにして、農業の効率化を図るため | 4. 全国の測量技術を向上させ、正確な日本地図を完成させるため |
|-------------------------------|--|------------------------------------|---------------------------------|
- 問13 南蛮貿易において、日本が中国産の生糸を輸入する際の対価として、大量の「銀」が輸出された経済的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。 | 2. 当時の日本には絹織物を作る技術が全く存在せず、生糸を輸入するために銀を全量放出したため。 | 3. 当時の日本国内では貨幣として銀を使用することが禁じられており、国外へ出すしかなかったため。 | 4. ポルトガル人が日本産の金や銅の品質を認めず、銀による支払いのみを要求したため。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮） 目標とした王朝：明	当時の朝鮮半島は朝鮮王朝（李氏朝鮮）が統治しており、李舜臣率いる水軍や各地の義勇軍が日本軍に対して激しい抵抗を続けました。秀吉が最終的な征服対象としていたのは中国の明ですが、明も朝鮮側に援軍を送って日本と戦いました。なお、清は明の後の時代に中国を支配した王朝です。
問2	答え 4 宗教改革の影響でヨーロッパ内での支持を失いつつあったため、新たな信者を獲得して勢力を立て直そうとしたから。	宗教改革（対抗宗教改革）の時期、カトリック教会はプロテスタントに奪われた勢力を補うため、大航海時代による地理的知識の拡大を利用して世界規模での布教を試みました。これは、単なる宗教的情熱だけでなく、教会の組織維持や勢力回復という明確な目的を持った組織的な動きでした。
問3	答え 1 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗（臨済宗や曹洞宗）は、自らの修行によって悟りを開こうとする姿勢が、当時の新興勢力であった武士の気風に合い、鎌倉幕府などの保護を受けました。また、天正遣欧使節は、戦国時代のキリシタン大名たちがイエズス会の宣教師ヴァリニャーノの勧めを受け、キリスト教世界の威容に触れるとともに、日本での布教への支援を求める目的などで派遣されました。選択肢にある念仏による救済は浄土宗などの特徴であり、鎖国や鉄砲購入、勘合貿易などはこれら二つの事柄の本来の背景とは異なります。
問4	答え 3 襖や障子に和紙を多用し、その表面に金碧障壁画を描いて権威を誇示した。	書院造はもともと武家の住居様式として発展しましたが、桃山文化においては、主君と家臣が対面する儀式の場としての役割が重視されました。そのため、和紙で作られた襖や障子には、狩野派などによる壮麗な障壁画が描かれ、訪れる者に大名の強大な権力を誇示する空間が作り出されました。質素さを追求したのは東山文化の特色です。
問5	答え 4 足利義昭	織田信長は1568年に足利義昭を奉じて京都に入り、彼を第15代将軍に就けましたが、その後両者は対立を深めました。信長が1573年に義昭を京都から追放したことで、足利氏による幕府機構は事実上消滅しました。足利尊氏は室町幕府の初代将軍、義満は第3代、義政は第8代将軍です。
問6	答え 3 名護屋城	豊臣秀吉は、朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）に際し、九州の肥前国（現在の佐賀県）に拠点となる名護屋城を築きました。この城の周辺には全国から動員された大名たちの陣屋が立ち並び、大陸侵攻の司令部としての役割を果たしました。愛知県にある名古屋城とは漢字が異なる点に注意が必要です。
問7	答え 2 X：アジアの香辛料 Y：西インド諸島	当時、オスマン帝国の台頭により陸路での貿易が困難になったため、ヨーロッパ諸国は直接アジアへ向かい、高価な香辛料を手に入れるための新しい航路を求めていました。コロンブスはスペインの援助を受け、アジアを目指して大西洋を横断した結果、1492年に西インド諸島へ到達しました。
問8	答え 4 畳の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。	妙喜庵にある待庵は、千利休の思想が反映された現存する唯一の茶室遺構とされています。わずかに二畳という極めて狭い空間に、土壁やにじり口（小さな出入り口）を設けることで、茶室の中では身分の差を忘れ、主客が対等に向き合う精神的な深まりを追求しました。
問9	答え 3 灰吹法などの精錬技術の導入により銀の生産量が増え、軍事費や海外貿易の支払いに利用された。	戦国時代に大陸から「灰吹法」という精錬技術が伝わったことで、石見銀山（島根県）などで銀の生産量が飛躍的に向上しました。これにより「石州丁銀」のような銀貨が作られ、戦国大名の軍事資金や、ポルトガル・スペインとの南蛮貿易における主要な支払い手段として世界経済にも大きな影響を与えました。
問10	答え 2 灰吹法（はいふきほう）	石見銀山では、1533年に博多の商人である神屋寿禎（かみやじゅてい）が朝鮮半島から技術者を招き、灰吹法を導入したことで銀の純度と生産効率が飛躍的に向上しました。この技術革新により、石見銀山は世界有数の銀産出地となり、大航海時代の世界経済に多大な影響を及ぼすこととなりました。また、この銀山は山陰地方の海岸に近い場所に位置し、輸出拠点へのアクセスが良いことも特徴でした。
問11	答え 2 鉄砲や火薬などの最新の武器を入手して軍事力を高めるため	戦乱の時代において、大名たちは合戦を有利に進めるために鉄砲やその原料となる火薬を必要としていました。これらの軍需品は南蛮貿易を通じて輸入されていたため、大名たちは貿易の利益や武器の調達を目的として、宣教師の活動を保護したり、自らキリスト教徒（キリシタン大名）になったりすることがありました。
問12	答え 2 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため	それまでは地域や領主ごとに測定基準が異なり、正確な生産量の把握が困難でした。秀吉は「京升」に基準を統一し、土地の良し悪しに応じた生産量を「石高」という単位で検地帳に記録しました。これにより、農民には年貢の負担義務を、武士には石高に応じた軍役（軍事的な負担）の義務を課す仕組みが確立されました。
問13	答え 1 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。	当時の中国（明）では、一条鞭法（いちじょうべんぽう）という、複雑な税制を銀に一本化して納める制度が広まっていました。このため、中国国内では銀が慢性的に不足しており、日本産の銀は生糸などの対価として非常に有利に取引されました。この需要の高さが、日本からの大量の銀輸出を支える要因となりました。

- 問1 戦国時代を勝ち抜き全国統一を進めた豊臣秀吉は、1587年に九州平定を終えた後、キリスト教の宣教師に対して日本からの退去を命じました。この政策が行われた背景にある当時の状況として最も適切なものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 宣教師の活動にともない、キリシタン大名が領内の神社仏閣を破壊したり、日本人が奴隷として海外に売られたりしていた状況を秀吉が危惧したため | 2. 藩校の設立を通じて武士に儒教を普及させようとした秀吉が、儒教の教えと対立するキリスト教の思想を排除して学問の統一を図ろうとしたため | 3. 江戸幕府が五街道の整備を進める中で、キリスト教の布教が街道沿いの宿場町の治安を乱すと判断し、各地の守護大名に命じて宣教師を追放させたため | 4. 宣教師たちが鉄砲の製造技術を独占し、秀吉の進める刀狩や検地といった政策に対してキリスト教徒を組織して武装蜂起を扇動したため |
|--|--|---|--|
- 問2 豊臣秀吉が行った太閤検地が、日本の歴史において「中世から近世への転換点」とされる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 古代から続く公地公民の原則を復活させ、すべての土地を朝廷が管理する制度に戻したため。 | 2. 荘園領主の土地支配権を否定し、全国一律の基準で農民から直接年貢を徴収する仕組みを確立したため。 | 3. 武士が農村に住み続けることを奨励し、自給自足の村落共同体を強化して鎖国体制を準備したため。 | 4. 土地の売買を完全に自由化し、貨幣経済に基づいた近代的な地租改正の先駆けとなったため。 |
|---|--|--|---|
- 問3 日本の歴史的な建造物について述べた次の説明のうち、桃山文化を代表する城郭建築の遺構として最も適切なものはどれですか。なお、比較対象として平安時代の厳島神社、室町時代の慈照寺銀閣、平安時代の中尊寺金色堂などの資料が並んでいるものとします。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-----------|----------|
| 1. 姫路城 | 2. 厳島神社 | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 慈照寺銀閣 |
|--------|---------|-----------|----------|
- 問4 安土桃山時代、織田信長や豊臣秀吉に仕え、豪華な文化が栄えるなかで、無駄を徹底的に省いた質素で静かな美しさを重んじる「わび茶」を大成させた人物は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| 1. 狩野永徳 | 2. 世阿弥 | 3. 雪舟 | 4. 千利休 |
|---------|--------|-------|--------|
- 問5 大航海時代における航海者とその影響について述べた文として、コロンブスの活動を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。 | 2. ポルトガルの援助を受けてアフリカ南端の喜望峰を回り、インドへの直接航路を初めて開拓した。 | 3. スペインの援助を受けて世界周航に出発し、地球が丸いことを実証する一団の先頭に立った。 | 4. イタリアの商人として陸路でアジアを訪れ、東洋の状況を『東方見聞録』としてヨーロッパに紹介した。 |
|--|---|---|--|
- 問6 豊臣秀吉は、刀狩令によって農民から武器を没収するとともに、太閤検地によって耕作者を検地帳に登録しました。これらの政策を通じて、武士と農民の身分を明確に区別した仕組みを何と呼びますか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 地租改正 | 2. 版籍奉還 | 3. 廃藩置県 | 4. 兵農分離 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 豊臣秀吉が「刀狩令」を出した際、没収した武器の用途について農民たちにどのように説明したとされていますか。当時の状況として正しいものを選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 新たに組織する足輕階級の公的な装備として再利用する | 2. 海外との貿易において、主要な輸出品として加工し活用する | 3. 戦国時代から続く戦乱を終結させるため、すべて海に沈めて廃棄する | 4. 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
- 問8 安土桃山時代の文化において、豊臣秀吉に仕えた堺の豪商出身の人物で、当時の華やかな風潮とは対照的に、質素な中でも精神的な深みを見出す「わび茶」の作法を完成させたのは誰ですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 世阿弥 | 2. 栄西 | 3. 足利義政 | 4. 千利休 |
|--------|-------|---------|--------|
- 問9 日本と世界の交流に関する歴史的な事象のうち、16世紀の「天正遣欧少年使節」の派遣と、歴史的な時期や背景が最も近い出来事はどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 聖武天皇の遺品やシルクロードを経由した国際色豊かな工芸品が、正倉院に納められたこと。 | 2. 日本の錦絵がヨーロッパへ渡り、印象派などの画家の作品に大きな影響を与えたこと。 | 3. パスコ・ダ・ガマが喜望峰を経てインドに到達し、アジアへの新航路が開かれたこと。 | 4. マルコ・ポーロが元を訪れてフビライに仕え、その見聞が『世界の記述』としてまとめられたこと。 |
|---|--|--|--|
- 問10 16世紀の大航海時代、スペインが築いた植民地支配の広がりについて述べたものとして、正しいものはどれですか。北アメリカ南部、南アメリカ大陸の大部分、および東南アジアの島々を支配していた状況を踏まえて答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アジアでの香料貿易を独占するため、ジャワ島のバタビアを拠点に東南アジアの島々を武力で支配した。 | 2. パスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことをきっかけに、アフリカ沿岸やインドのゴア、中国のマカオを支配した。 | 3. ポルトガルから独立した直後、南アメリカ大陸のブラジルを中心に、金や銀の採掘を目的とした植民地を築いた。 | 4. スペイン王室の支援を受けたコロンブスの航海をきっかけに、南北アメリカ大陸の広大な地域やフィリピンを支配した。 |
|--|---|--|---|
- 問11 織田信長が安土城の城下町などで実施した「楽市・楽座」の目的と内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. キリスト教の布教を制限するため、特定の商人による貿易のみを認め、各地に関所を設置して物流を統制した。 | 2. 農民の反乱を防ぐため、農村から武器を没収し、身分による住み分けを明確にすることで兵農分離を進めた。 | 3. 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。 | 4. 幕府の財政を安定させるため、有力な商人に「株仲間」という独占的な特権を与えて営業税を徴収した。 |
|---|--|--|--|
- 問12 豊臣秀吉が発令した「総無事令」の背景とその仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。 | 2. 兵農分離を進める背景として、農民から刀や弓などの武器を没収し、一揆を防止するとともに身分制度を確立させた。 | 3. 江戸幕府の成立を背景に、将軍が大名に対して参勤交代を義務付け、反乱の芽を摘み取るための基本法とした。 | 4. 安土城の築城を背景に、信長が実施した楽市・楽座を引き継ぎ、商工業の自由化を全国に広めることを目的とした。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 宣教師の活動にともない、キリシタン大名が領内の神社仏閣を破壊したり、日本人が奴隷として海外に売られたりしていた状況を秀吉が危惧したため	九州を平定した豊臣秀吉は、キリシタン大名が長崎を教会に寄進していることや、宣教師の活動の裏で日本人が海外へ奴隷として売買されている実態を知りました。秀吉は、日本を「神国」と位置づけ、キリスト教の布教が日本の伝統的な秩序を乱すと判断し、バテレン追放令（宣教師の国外追放）を出しました。なお、五街道の整備や藩校の設立は江戸時代、守護大名の任命は室町時代以前の出来事であり、時代設定が異なります。
問2	答え 2 荘園領主の土地支配権を否定し、全国一律の基準で農民から直接年貢を徴収する仕組みを確立したため。	中世の土地制度（荘園制）では、一つの土地に対して貴族や寺社など複数の権利者が重なり合っていましたが、太閤検地によってこれらの複雑な関係が整理されました。全国で統一された柵（京柵）を用いるなど、公平かつ強力な統治システムを構築したことで、武士が領主として農民を支配する近世的な社会構造（幕藩体制）への移行が決定づけられました。
問3	答え 1 姫路城	桃山文化は織田信長や豊臣秀吉の時代を中心に、大名たちの権力を象徴する城郭建築が発達した時期です。姫路城はその代表的な遺構であり、防御機能だけでなく、書院造の意匠を取り入れた豪華な内部構造を持っています。厳島神社や中尊寺金色堂は平安時代、慈照寺銀閣は室町時代の東山文化を代表する建築物であり、時代背景が異なります。
問4	答え 4 千利休	豊臣秀吉に重用された茶人であり、禅の精神を取り入れた「わび茶」を完成させました。当時の武士たちの間では、茶の湯は単なるたしなみだけでなく、政治的な交渉や精神修養の場としても極めて重要な役割を果たしていました。
問5	答え 1 スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。	コロンブスの航海は、大西洋の先に未知の大陸（アメリカ大陸）があることをヨーロッパ社会に認識させる歴史的な転換点となりました。他の選択肢のうち、インド航路開拓はバスコ・ダ・ガマ、世界周航はマゼラン、東方見聞録はマルコ・ポーロの業績です。
問6	答え 4 兵農分離	豊臣秀吉は、農民が一揆を起こすことを防ぎ、また年貢を確実に納めさせるために刀狩を行いました。同時に太閤検地によって農民の権利と納税の義務を確定させたことで、戦う役割の武士と耕作する役割の農民という区別が明確になり、社会の安定化が図られました。
問7	答え 4 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする	秀吉は刀狩を命じる際、没収した武器を方広寺（京都）の大仏造立の材料にすると説明しました。これは、武器を差し出すことが現世の利益や来世の救済につながるという宗教的な名目を持たせることで、農民からの反発を和らげ、スムーズに武器を回収しようとする意図がありました。
問8	答え 4 千利休	堺の豪商出身で、織田信長や豊臣秀吉の茶頭として仕えました。それまでの豪華な茶の湯とは異なり、簡素な茶室で精神的な交流を重んじる「わび茶」を大成させ、後の日本文化に大きな影響を与えました。選択肢にある栄西は鎌倉時代に喫茶の習慣を伝え、足利義政は室町時代の東山文化において茶の湯を保護した人物です。
問9	答え 3 バスコ・ダ・ガマが喜望峰を経てインドに到達し、アジアへの新航路が開かれたこと。	16世紀は、ヨーロッパ諸国が海外へ進出した「大航海時代」にあたります。バスコ・ダ・ガマによるインド航路の開拓（15世紀末）を契機として、ポルトガル人やスペイン人がアジアへ来航し、南蛮貿易やキリスト教の伝来が始まりました。天正遣欧少年使節は、まさにこの大航海時代における東西交流の波の中で実現した出来事です。他の選択肢については、マルコ・ポーロは13世紀、正倉院は8世紀、錦絵の影響は19世紀の出来事であり、時期が異なります。
問10	答え 4 スペイン王室の支援を受けたコロンブスの航海をきっかけに、南北アメリカ大陸の広大な地域やフィリピンを支配した。	16世紀のスペインは、コロンブスの航海を支援したことで、カリブ海周辺から南北アメリカ大陸（現在のメキシコやペルーなど）へと急速に支配を広げました。また、アジアにおいてはフィリピン諸島を領有し、メキシコの銀をフィリピン経由で中国（明）へ運ぶなど、世界規模の交易網を構築しました。アフリカ沿岸やインド、マカオなどを拠点としたのはポルトガルであり、スペインの支配地域とは異なります。
問11	答え 3 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。	戦国時代、それまでの商業は「座」と呼ばれる特権団体が独占しており、新しく商売を始める者には障壁となっていました。信長は自らの領地の経済を活性化させるため、これらの特権を廃止して誰でも自由に商売ができるようにしました。これにより、城下町に多くの商人が集まり、物資が豊富に流通するようになりました。選択肢にある「株仲間」は江戸時代中期に幕府が認めた独占組織であり、楽市・楽座とは正反対の性格を持つため注意が必要です。
問12	答え 1 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。	それまでの戦国大名は「自力救済（自分の力で問題を解決すること）」が原則でしたが、秀吉はこの法令によって紛争の裁定権を自分（豊臣政権）に一本化しようとしていました。これに従わなかった九州の島津氏や関東の後北条氏を討伐することで、秀吉は武力と法制度の両面から全国支配を完成させました。

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 4 鉄砲	織田信長は、種子島に伝来した鉄砲の有用性にいち早く注目しました。長篠の戦いでは、大量の鉄砲を揃えるだけでなく、足軽を組織して集団で一斉に射撃させるという、当時としては画期的な戦術を導入しました。これにより、機動力に優れた武田軍の騎馬隊を圧倒し、戦国時代の合戦のあり方を大きく変えることとなりました。
問2	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、経済を支配していた古い仕組みを壊すためにこの政策を採用しました。「楽」という言葉には「規制が解かれて自由である」という意味が含まれています。この政策によって、それまで特定の有力者に守られていた「座」を通さなくても商売ができるようになり、全国から多くの商人や品物が集まるようになりました。これが信長の天下統一を支える経済的な背景となりました。
問3	答え 3 スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。	コロンブスの航海は、大西洋の先に未知の大陸（アメリカ大陸）があることをヨーロッパ社会に認識させる歴史的な転換点となりました。他の選択肢のうち、インド航路開拓はバスコ・ダ・ガマ、世界周航はマゼラン、東方見聞録はマルコ・ポーロの業績です。
問4	答え 2 肉の保存や調味料として極めて高価であった香辛料を、直接安く手に入れるため	当時、コショウなどの香辛料は、アジアから陸路を経由して運ばれる間に多くの中間搾取を受け、ヨーロッパでは同じ重さの金と交換されるほど高価でした。そのため、海路を使って産地から直接買い付けることで、莫大な利益を得ようとする動きが強まりました。
問5	答え 3 輸入：生糸・鉄砲・ガラス製品 輸出：銀	南蛮貿易では、ポルトガル人やスペイン人が東南アジアや中国の拠点を経して日本と取引を行いました。日本からは当時世界有数の産出量を誇った銀が大量に輸出され、見返りとして戦国大名たちが求めた鉄砲や火薬、さらに中国産の生糸やヨーロッパの珍しいガラス製品などがもたらされました。茶や銅銭の輸入は日宋貿易や日明貿易の特徴であり、砂糖や石油などはより後世の貿易品です。
問6	答え 3 新しく城下町にやってきた商工業者の活動を促し、地域の経済を活性化させるため。	楽市・楽座の背景には、新興勢力である戦国大名が、旧来の寺社や公家と結びついていた「座」の独占的な支配力を排除したいという意図がありました。商工業者に自由な営業を認めることで、他領からも多くの商人や職人を呼び込み、城下町の繁栄と軍事的な補給能力の向上を図りました。これは単なる慈悲ではなく、大名の領国支配を強化するための合理的な経済戦略でした。
問7	答え 3 領国内の流通を活性化させ、物資の往来や商業を盛んにするため	織田信長は、自身の領国内で人や物の動きを制限していた関所を撤廃することで、商工業を活性化させようとしていました。これは「楽市・楽座」などの政策とも深く関連しており、特権を持つ寺社や公家の経済的基盤を弱めると同時に、自領の経済力を高めて戦国大名としての勢力を拡大させる狙いがありました。
問8	答え 1 石見銀山	石見銀山は戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出し、当時日本が世界的な銀の供給源となる大きな役割を果たしました。鉱山運営だけでなく、搬出のための港や街道、町並みなどの全体像が良好に保存されていることが評価され、世界文化遺産に登録されました。生野銀山は兵庫県、足尾銅山は栃木県、別子銅山は愛媛県に位置しています。
問9	答え 2 刀狩	豊臣秀吉が1588年に発令した「刀狩令」に基づく政策を刀狩と呼びます。当時、戦国時代からの流れで自衛のために武器を持つ農民が多く存在しましたが、秀吉はこれを強制的に没収することで、農民を耕作に専念させるとともに、武士との身分差を固定化する「兵農分離」を実現しようとしていました。選択肢にある「人掃令」や「身分統制令」も秀吉の政策ですが、直接的に武器を没収した行為を指すのは刀狩です。
問10	答え 2 信仰のよりどころとしての聖書	ルターは、当時のカトリック教会が腐敗していると考え、教会の儀式や教皇の権威よりも、キリスト教の原点である聖書に書かれた言葉を信じるべきだと主張しました。これが「聖書中心主義」です。ルターは多くの人々が聖書を読めるよう、ラテン語だった聖書をドイツ語に翻訳しました。この改革によって生まれた新しい宗派は、「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれます。
問11	答え 1 一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を確定させたことで、荘園領主などの古い権利が否定された。	太閤検地が行われる以前は、一つの土地に対して荘園領主や地頭など、複数の人物が権利を持っている複雑な状態でした。秀吉は「一地一作人の原則」によって、実際に耕作する農民一人だけを土地の持ち主として認めることで、中世から続いていた複雑な荘園制を完全に解体し、近世的な支配体制を確立しました。
問12	答え 3 兵農分離	豊臣秀吉は、農民が一揆を起こすことを防ぎ、また年貢を確実に納めさせるために刀狩を行いました。同時に太閤検地によって農民の権利と納税の義務を確定させたことで、戦う役割の武士と耕作する役割の農民という区別が明確になり、社会の安定化が図られました。
問13	答え 1 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。	太閤検地では「一地一作人（いっちいつさくにん）」の原則が導入されました。中世の荘園制では一つの土地に複数の権利者が重なっていましたが、検地帳に実際の耕作者を直接登録することで、農民の耕作権を認める代わりに、その農民に直接年貢を納めさせる責任を負わせました。これが後の兵農分離を加速させ、江戸時代の幕藩体制の基礎となりました。
問14	答え 2 千利休は、豊臣秀吉に仕えながら茶の湯の精神を深め、豪華な装飾を排した独自の美意識を確立した。	千利休は豊臣秀吉の側近として政治的な助言も行う一方で、茶の湯においては「わび・さび」という質素な美を追求しました。これは、秀吉が好んだ黄金の茶室のような派手な好みとは対照的なものでしたが、当時の武士や豪商の間で広く受け入れられました。雪舟は室町時代の画僧であり、世阿弥も室町時代の人物です。また、千利休のわび茶は豪華さを排する点に特徴があります。

- 問1 当時の様子を描いた屏風などの絵画には、大型の船から上陸した商人が象などの珍しい動物を連れている様子や、キリスト教の宣教師が日本人の案内を受ける場面が描かれています。このような文化交流を伴った貿易の主な相手国として正しい組み合わせはどれですか。 （2026年 千葉県公立入試 類似）
1. オランダ・イギリス 2. 中国（明）・朝鮮 3. アメリカ・ロシア 4. ポルトガル・スペイン
- 問2 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策の目的と、その結果として進められた社会的な区分について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。 2. 自給自足の生活を推奨し、農村に商人が入り込むのを制限することで、幕藩体制の基礎を築いた。 3. 鉄砲の製造を特定の職人に制限し、幕府が軍事力を独占することで、戦国時代の終焉を宣言した。 4. 検地帳に農民の名前を登録することで、土地の所有権と耕作の権利を保障し、税率を一定にした。
- 問3 豊臣秀吉は、刀狩令によって農民から武器を没収するとともに、太閤検地によって耕作者を検地帳に登録しました。これらの政策を通じて、武士と農民の身分を明確に区別した仕組みを何と呼びますか。 （2022年 鳥取県公立入試 類似）
1. 兵農分離 2. 廃藩置県 3. 版籍奉還 4. 地租改正
- 問4 16世紀のヨーロッパで起こった宗教改革によって、ローマ教皇を中心とするカトリック教会から分離し、新しく成立したキリスト教の諸派を総称して何と呼びますか。なお、この勢力に対抗してカトリック側が布教を強化したことが、後にイエズス会による日本へのキリスト教伝来につながりました。 （2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 正教会 2. プロテスタント 3. イスラム教 4. 清教徒（ピューリタン）
- 問5 16世紀にドイツのルターらが始めた宗教改革において、彼らがカトリック教会の権威に対抗するために最も重視したものは何か、次の中から選んでください。 （2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 信仰のよりどころとしての聖書 2. 十字軍の遠征による聖地の奪還 3. イスラム教の教典であるコーラン 4. ローマ教皇が下す命令や教会の伝統
- 問6 美術史上の資料において、厳格な儀式を描いた古代エジプトの壁画や、ナポレオンを英雄として描いた19世紀の騎馬像などに対し、14世紀から16世紀のルネサンス期の芸術作品には「人間中心主義（ヒューマニズム）」という特徴が見られます。この背景にある当時の社会の変化として、最も適切な説明を選んでください。 （2025年 茨城県公立入試 類似）
1. モンゴル帝国の拡大によって東西交流が盛んになり、イスラム世界の数学や科学がヨーロッパに直接流入した。 2. 産業革命が進展して都市労働者が増加したことで、個人の権利や平等を求める民主主義の運動が活発化した。 3. 十字軍の遠征などを経て教会の権威が揺らぎ、人々の関心が神の世界から現実の人間社会へと移り変わった。 4. フランス革命によって身分制社会が崩壊し、市民が主体となった自由な芸術表現が国家によって推奨された。
- 問7 織田信長が安土の町に出した法令において、「楽市としたので、いろいろな座は廃止し、さまざまな税や労役は免除する」「京都を行き来する商人は必ず安土に寄って泊まるようにせよ」といった内容が記された目的として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 沖縄県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を制限し、寺社勢力の経済的基盤を奪うため 2. 武士と百姓の身分を明確に区別し、一揆などの反乱を未然に防ぐため 3. 土地の生産力を調査し、年貢を確実に徴収する仕組みを作るため 4. 城下町に商人を集め、自由な取引を認めることで商工業の発展を促すため
- 問8 マゼランの船団が、ポルトガルが既に開拓していたアフリカ南端経由の東回り航路ではなく、あえて西回りの航路でアジアを目指した当時の背景として最も適切な説明はどれですか。 （2015年 大分県公立入試 類似）
1. 大西洋の西側に巨大な金銀の島が存在するという確実な地図が、スペイン王室に伝わっていたため 2. 羅針盤の技術が未熟だったため、海岸線沿いに進む東回り航路よりも外洋を横断する方が安全だと考えられたため 3. 教皇子午線（トルデシヤス条約）により、スペインはアフリカ沿岸を通る航路の利用を一切禁止されていたため 4. スペインがポルトガルの勢力圏を避けつつ、香辛料の産地であるアジアへの独自ルートを確認しようとしたため
- 問9 16世紀ごろの世界を描いた資料において、ヨーロッパからアフリカ大陸を大きく迂回してインドへ向かう航路が描かれることがあります。この航路が開拓された歴史的背景とその目的について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 （2026年 三重県公立入試 類似）
1. オスマン帝国などの勢力を通さず、アジアの香辛料を直接かつ安価に手に入れるため、大西洋からインド洋へ抜けるルートを確認しようとした。 2. 地中海貿易の主導権を握っていたベネチアの商人に対抗するため、フランスがアフリカ大陸を横断する陸路の代替案として開発した。 3. アメリカ大陸で発見された銀をアジアへ運ぶため、スペインの支援を受けてアフリカ南端を経由する最短ルートを確立しようとした。 4. 羅針盤や天体観測の技術が未発達であったため、常に海岸線を目視できるアフリカ沿岸を経由してアジアを目指す必要があった。
- 問10 安土桃山時代の茶の湯の流行について述べた次の文のうち、千利休が行った活動やその背景として正しいものはどれか。 （2021年 大分県公立入試 類似）
1. 金箔をふんだんに使った豪華な装飾を推奨し、武士の権威を誇示するための華やかな茶会を主催した 2. 京都の鴨川の河原において、新しい芸能である「かぶき踊り」を披露し、民衆の間で茶の湯を広めた 3. 水墨画の技法を茶の湯に取り入れ、禪の精神を視覚的に表現した障壁画を数多く制作した 4. 簡素な趣を重んじる「わび茶」の作法を確立し、狭い茶室を政治的な交渉や密談の場としても活用させた
- 問11 豊臣秀吉が行った外交政策のうち、当時の記録に「明（みん）の征服を目指して朝鮮に軍を派遣した」と記述される出来事の背景や結果として正しいものはどれですか。 （2023年 大分県公立入試 類似）
1. 出兵の結果、明との正式な貿易である勘合貿易を再開させることに成功した。 2. 2度にわたる朝鮮半島への出兵を行ったが、秀吉の病死によって軍は撤退することとなった。 3. 朝鮮の国王を日本に招き、江戸幕府の権威を示すための朝鮮通信使の制度を確立した。 4. 朝鮮との連合軍を組織し、当時勢力を拡大していたモンゴル帝国の侵攻を阻止した。
- 問12 安土桃山時代の政治について、織田信長が行った天下統一のための行動とその背景の説明として最も適切なものはどれか。 （2018年 京都府公立入試 類似）
1. 太閤検地や刀狩を行うことで、武士と百姓の身分を明確に区別する兵農分離を完成させた。 2. 南北朝の合一を成し遂げることで、長年の朝廷の混乱を鎮めて政治の安定を図った。 3. 江戸に幕府を開き、参勤交代の制度を設けることで全国の諸大名を統制した。 4. 室町幕府の將軍を追放して既存の支配体制を打破し、実力によって全国を支配しようとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ポルトガル・スペイン	「南蛮人」とは、主に東南アジアの拠点を經由して来航したポルトガル人やスペイン人を指します。彼らは貿易だけでなく、イエズス会などの宣教師を通じてキリスト教や、パン・カステラ・メガネといったヨーロッパの新しい文化や技術を日本に伝えました。
問2	答え 1 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。	豊臣秀吉は、農民から武器を取り上げる「刀狩」を行うことで、武力による抵抗（一揆）を物理的に不可能にしました。これにより農民を農業生産に集中させ、年貢を確実に徴収する体制を整えました。同時に、帯刀が許される武士と、耕作を担う農民という身分の違いが明確になり、後世に続く「兵農分離」の基盤が作られました。
問3	答え 1 兵農分離	豊臣秀吉は、農民が一揆を起こすことを防ぎ、また年貢を確実に納めさせるために刀狩を行いました。同時に太閤検地によって農民の権利と納税の義務を確定させたことで、戦う役割の武士と耕作する役割の農民という区別が明確になり、社会の安定化が図られました。
問4	答え 2 プロテスタント	ルターやカルバンらの主張を支持した人々は、カトリック教会に「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれました。カトリック側はこれに対抗して自らの勢力を立て直すためにイエズス会を設立し、アジアなど海外への布教を積極的に行うようになりました。
問5	答え 1 信仰のよりどころとしての聖書	ルターは、当時のカトリック教会が腐敗していると考え、教会の儀式や教皇の権威よりも、キリスト教の原点である聖書に書かれた言葉を信じるべきだと主張しました。これが「聖書中心主義」です。ルターは多くの人々が聖書を読むよう、ラテン語だった聖書をドイツ語に翻訳しました。この改革によって生まれた新しい宗派は、「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれます。
問6	答え 3 十字軍の遠征などを経て教会の権威が揺らぎ、人々の関心が神の世界から現実の人間社会へと移り変わった。	中世ヨーロッパはキリスト教の影響力が極めて強い社会でしたが、十字軍の失敗や都市の発展、さらにはペストの流行などにより、教会の絶対的な権威が低下しました。これに伴い、人々の価値観は「神」から「人間」へと転換し、古典文化に学ぼうとするルネサンスの動きが加速しました。
問7	答え 4 城下町に商人を集め、自由な取引を認めることで商工業の発展を促すため	信長は「座」の特権廃止や税の免除だけでなく、商人に安土を經由させる仕組みを作ることで、物資と情報の集積を図りました。これは、既存の寺社や公家の勢力を弱めると同時に、自らの領地の経済力を強化して軍事費を確保する狙いがありました。なお、身分の区別（兵農分離）については豊臣秀吉の政策として有名です。
問8	答え 4 スペインがポルトガルの勢力圏を避けつつ、香辛料の産地であるアジアへの独自ルートを確保しようとしたため	大航海時代、高価な香辛料を求めて欧州諸国はアジアを目指しました。アフリカ南端を經由する東回り航路はポルトガルが独占していたため、後発のスペインは反対方向である西回りの航路を開拓することで、自国の利益を確保しようとしていました。トルデシリャス条約は勢力圏を分けるものでしたが、未知の西回り航路にかけたのは経済的・政治的な対抗意識が背景にあります。
問9	答え 1 オスマン帝国などの勢力を通さず、アジアの香辛料を直接かつ安価に手に入れるため、大西洋からインド洋へ抜けるルートを確保しようとした。	当時、ヨーロッパで需要が高かった香辛料は、イスラム勢力やベネチア商人が仲介することで非常に高価なものとなっていました。大西洋に面したポルトガルは、これらの中間搾取を排除して直接利益を得るために、アフリカ南端の喜望峰を經由する新しい海上ルートの開拓を推進しました。この航路の開拓により、貿易の中心は地中海から大西洋へと移り変わっていくことになります。
問10	答え 4 簡素な趣を重んじる「わび茶」の作法を確立し、狭い茶室を政治的な交渉や密談の場としても活用させた	千利休は、高価な道具や豪華な装飾を誇るのではなく、不足の中に美を見出す「わび茶」の精神を重んじました。茶室は余計な装飾を排した極めて狭い空間であったため、戦国大名たちが本音で語り合える場となり、政治的な重要性が高まりました。他の選択肢にある障壁画は狩野永徳、かぶき踊りは阿国の事績です。
問11	答え 2 2度にわたる朝鮮半島への出兵を行ったが、秀吉の病死によって軍は撤退することとなった。	全国統一を果たした秀吉は、さらに中国の大国であった明を征服しようと考え、その経路となる朝鮮半島に2度（文禄・慶長の役）大軍を送りました。しかし、朝鮮側による抵抗や秀吉自身の病死により、目的を達せぬまま撤収することになりました。なお、朝鮮通信使は江戸時代に朝鮮との国交が回復した後に始まった制度です。
問12	答え 4 室町幕府の将軍を追放して既存の支配体制を打破し、実力によって全国を支配しようとした。	信長は室町幕府を滅ぼすことで中世的な権威を否定し、楽市・楽座などの経済政策や強力な軍事力によって天下統一を推進しました。南北朝の合一は室町時代の足利義満、兵農分離の完成は豊臣秀吉、参勤交代は江戸時代の徳川家光による功績や制度であり、信長はそれらに先立つ新しい統治の仕組みを作り上げようとしていました。

- 問1 16世紀にポルトガルやスペインがアジアへ進出し、イエズス会の宣教師が日本でキリスト教を広めた当時の状況を説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 朱印船貿易によって東南アジアへ進出した日本人のために、各地に教会を建設することが主な目的であった | 2. 幕府による鎖国の徹底を支援するために、ヨーロッパの最新の軍事技術を伝える活動が行われた | 3. 宗教改革の影響でカトリックの勢力が衰退したため、新天地での布教を目的として活動が行われた | 4. プロテスタントの教義を日本に広めることで、カトリック国であるスペインの進出を阻止しようとした |
|---|--|---|---|
- 問2 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の日本の戦いの形を大きく変えることになりました。鉄砲の普及によって変化した当時の戦術の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 1. 弓矢の重要性が高まり、鉄砲の音で敵を威嚇する心理戦が主流となった。 | 2. 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。 | 3. 接近戦を避けるため、水軍による海上からの攻撃のみが重視されるようになった。 | 4. 防御力重視のため、堀や石垣を設けない簡素な陣地での戦いが中心となった。 |
|--------------------------------------|---|--|--|
- 問3 日本の政治拠点の変遷とその特徴について述べた文として、歴史的事実に基づき最も適切なものを選択してください。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 平城京は、平清盛が日宋貿易の拡大を狙って、兵庫の港である大輪田泊に隣接する形で築かれた。 | 2. 安土城は、大化の改新直後に律令体制を確立するための中心地として、奈良盆地の北端に築かれた。 | 3. 平安京は、平城京において強大化した仏教勢力の政治介入を避けるため、鴨川と桂川に挟まれた土地に築かれた。 | 4. 福原京は、織田信長が古い特権を持つ商人を排除し、自由に商売を行わせる楽市楽座を推進するために築かれた。 |
|---|--|--|--|
- 問4 15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルの航海者がアフリカ南岸を通過してインド洋へと向かう航路の開拓に注力した理由として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. キリスト教の布教を目的とした十字軍を組織し、聖地エルサレムを南から包囲するため。 | 2. アメリカ大陸で産出される銀を、インド洋を経由してヨーロッパへ輸送する最短ルートを確立するため。 | 3. 産業革命による蒸気船の普及に合わせ、大量の石炭を補給できる大西洋沿岸の拠点を確保するため。 | 4. オスマン帝国の勢力拡大により、地中海を経由する従来の陸路や海路での香辛料取引が困難になったため。 |
|---|--|--|---|
- 問5 戦国大名が実施した「楽市・楽座」の政策において、従来の「座」の特権を廃止した主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|--|
| 1. 農民が商業に転職することを防ぎ、兵農分離を徹底させるため。 | 2. 新しく城下町にやってきた商工業者の活動を促し、地域の経済を活性化させるため。 | 3. キリスト教の布教を制限し、仏教勢力との結びつきを強めるため。 | 4. 特定の商人に独占的な営業権を与えることで、大名への献金額を増やすため。 |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|--|
- 問6 2007年に世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡が、他の大規模な鉱山遺跡と異なり、国際的に高く評価された特徴としてふさわしい説明はどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。 | 2. 明治以降の近代化を支えるため、当時の最新技術であった製鉄業と一体化した巨大工場群が残っている点。 | 3. 採掘された銀がすべて遣隋使や遣唐使の派遣費用として、大陸への支払いに充てられていた点。 | 4. 日本で初めて労働組合が結成され、賃金の上昇と労働時間の短縮が実現した発祥の地である点。 |
|--|---|--|--|
- 問7 豊臣秀吉が実施した太閤検地の際に作成された「検地帳」には、土地の一筆ごとに面積や等級（上・中・下・下々）が定められ、実際にその土地を耕作している農民の名前が一人ずつ詳細に記録されています。このように、土地の状況と耕作者を直接結びつけて記録した背景にある、秀吉の狙いとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 複雑だった土地の権利関係を整理し、年貢を納める責任者を明確にすることで、安定した税収を確保するため。 | 2. 土地をすべて天皇の持ち物とする「公地公民」の原則を復活させ、律令国家の体制を再構築するため。 | 3. 特定の商人に土地の管理権を与え、城下町の商業を活性化させるための資金源とするため。 | 4. 農民に土地の自由な売買を認めることで、大規模な農地経営を促進し、農業技術を向上させるため。 |
|---|---|--|--|
- 問8 16世紀にマゼランの船団が成し遂げた「世界一周」という出来事が、当時のヨーロッパの人々の認識やその後の歴史に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 大西洋を横断して到達した陸地が、インドではなく「新大陸」であることが初めて確認された | 2. アフリカ大陸の南端を経由してインドへ向かう東回りの直接航路が確立された | 3. 地球が球体であることが航海によって実証され、中世的な世界観が大きく変化した | 4. 教皇の仲介により、スペインとポルトガルが世界の未到達地を分割する条約が初めて結ばれた |
|---|--|--|---|
- 問9 織田信長が安土城の城下町などで実施した「楽市・楽座」の目的と内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 城下町の経済的發展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。 | 2. 農民の反乱を防ぐため、農村から武器を没収し、身分による住み分けを明確にすることで兵農分離を進めた。 | 3. キリスト教の布教を制限するため、特定の商人による貿易のみを認め、各地に関所を設置して物流を統制した。 | 4. 幕府の財政を安定させるため、有力な商人に「株仲間」という独占的な特権を与えて営業税を徴収した。 |
|--|--|---|--|
- 問10 豊臣秀吉が発した法令において、農民から刀や鉄砲などの武器を没収する際、農民たちの反発を和らげるために示された「没収した武器の用途」に関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1. 京都に建立する大仏の釘やかすがいなど、宗教的な建造物の材料として利用する | 2. 鉄砲や槍を農具に作り替え、開墾を進めるための道具として農村へ再配布する | 3. 没収した武器を明などの外国へ輸出し、その利益で飢饉に備えるための米を購入する | 4. 朝廷に献上して武威を示すことで、天皇から全国支配の正当性を認めもらう |
|---|--|---|---------------------------------------|
- 問11 「市に居住する者は自由に領内を往来してよい」「市場の税を免除し、自由な商売を行うことを認める」といった内容の布告を織田信長が出した目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を制限し、寺院の勢力を抑えるため | 2. 城下町の商業を盛んにして、天下統一のための経済力を蓄えるため | 3. 農民と商人の身分を明確に区別し、土地の所有権を確定させるため | 4. 武器の使用を制限することで、農民による一揆を未然に防ぐため |
|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 宗教改革の影響でカトリックの勢力が衰退したため、新天地での布教を目的として活動が行われた	イエズス会の活動は、ヨーロッパ本国での「対抗宗教改革（カトリック改革）」の一環として位置づけられます。プロテスタントの台頭によって失われた影響力を、アジアなどの新天地での布教によって補おうとする強い動機がありました。なお、朱印船貿易の制限や鎖国の徹底は、キリスト教が伝来した後の江戸時代初期の出来事であるため、布教の当初の目的とは合致しません。
問2	答え 2 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。	鉄砲は強力な武器ですが、装填に時間がかかるという欠点がありました。これを補うために、織田信長が長篠の戦いで見せたように、多数の足軽を組織して交代で撃たせるなどの集団戦術が編み出されました。これにより、個人の武勇よりも組織力が勝敗を分ける時代へと移行しました。
問3	答え 3 平安京は、平城京において強大化した仏教勢力の政治介入を避けるため、鴨川と桂川に挟まれた土地に築かれた。	桓武天皇は、奈良の平城京で大きな力を持っていた寺院勢力から政治を切り離すことを目的の一つとして、山背国（現在の京都府）への遷都を行いました。当初は長岡京が築かれましたが、その後に平安京へと移されています。平城京は奈良時代に律令体制の中心として築かれた都であり、大輪田泊に隣接する福原京は平安時代末期の平氏政権によるものです。また、楽市楽座が行われた安土城は戦国時代の織田信長による拠点です。
問4	答え 4 オスマン帝国の勢力拡大により、地中海を経由する従来の陸路や海路での香辛料取引が困難になったため。	当時、ヨーロッパで需要が高かった香辛料は、地中海東部を支配するオスマン帝国や、それと取引するイタリアの都市国家が仲介していました。ポルトガルはこれらの勢力を介さず、アジアと直接取引を行って利益を独占するため、アフリカ南端を経由してインド洋に出る新航路の開拓を目指しました。
問5	答え 2 新しく城下町にやってきた商工業者の活動を促し、地域の経済を活性化させるため。	楽市・楽座の背景には、新興勢力である戦国大名が、旧来の寺社や公家と結びついていた「座」の独占的な支配力を排除したいという意図がありました。商工業者に自由な営業を認めることで、他領からも多くの商人や職人を呼び込み、城下町の繁栄と軍事的な補給能力の向上を図りました。これは単なる慈悲ではなく、大名の領国支配を強化するための合理的な経済戦略でした。
問6	答え 1 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。	石見銀山は、森林を完全に破壊することなく、燃料となる薪や炭を確保するために計画的な植林が行われるなど、環境に配慮した鉱山運営が行われていました。このように自然と産業が共生していた歴史的背景は、現代の持続可能な開発の観点からも重要視され、世界遺産登録の大きな要因となりました。近代化の象徴である製鉄業と関連が深いのは、同じく世界遺産の「明治日本の産業革命遺産」に含まれる官営八幡製鉄所などです。
問7	答え 1 複雑だった土地の権利関係を整理し、年貢を納める責任者を明確にすることで、安定した税収を確保するため。	太閤検地以前の日本では、一つの土地に対して何層もの中間搾取が行われるなど、権利関係が非常に複雑でした。秀吉は「一地一作人の原則」を導入し、実際に耕作している者を検地帳に登録することで、誰が年貢を納めるべきかを確定させました。また、枌（ます）の大きさを全国で統一し、収穫量を「石高」という共通の単位で把握することで、全国一律の課税体系を整えました。
問8	答え 3 地球が球体であることが航海によって実証され、中世的な世界観が大きく変化した	マゼランの船団が西へ進み続けて出発地点に戻ったことで、古代から説として存在した地球球体説が現実の経験として証明されました。これは、当時のキリスト教的な宇宙観や、大地を平坦なものと考えていた人々の認識に劇的な変化をもたらし、科学的な地理学の発展を促しました。
問9	答え 1 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。	戦国時代、それまでの商業は「座」と呼ばれる特権団体が独占しており、新しく商売を始める者には障壁となっていました。信長は自らの領地の経済を活性化させるため、これらの特権を廃止して誰でも自由に商売ができるようにしました。これにより、城下町に多くの商人が集まり、物資が豊富に流通するようになりました。選択肢にある「株仲間」は江戸時代中期に幕府が認めた独占組織であり、楽市・楽座とは正反対の性格を持つため注意が必要です。
問10	答え 1 京都に建立する大仏の釘やかすがいなど、宗教的な建造物の材料として利用する	秀吉は刀狩令の中で、没収した武器を方広寺の大仏建立に役立てると説明しました。これにより、武器を差し出すことは現世の安全だけでなく、来世の幸福にもつながるという宗教的な「建前」を用いることで、農民からの抵抗を抑え、円滑に武器を回収しようとする狙いがありました。
問11	答え 2 城下町の商業を盛んにして、天下統一のための経済力を蓄えるため	信長は、戦国大名としての勢力を拡大するために、流通の拠点となる城下町に多くの商人を集める必要がありました。税を免除し、従来の座のしがらみをなくすることで、物資の集散を活発にし、その経済力を軍事費や政治工作の資金源としました。